

## モモ新品種「なつおとめ」の品種特性

園芸試験場

### 1 取り上げた理由

モモ栽培においては、「あかつき」と「川中島白桃」の間に収穫できる無袋栽培の可能な品種が望まれている。平成11年に品種登録された「なつおとめ」（系統番号：モモ筑波111号）は、品質良好で「あかつき」より1週間程度収穫期が遅い。宮城県でも「なつおとめ」の適応性について検討してきたが、「あかつき」の後に続く中生品種として有望と考えられるため、参考資料とする。

### 2 参考資料

#### 1) 来歴

昭和59年に農林水産省果樹試験場において、「あかつき」に「よしひめ」を交配。

#### 2) 樹体生育の特徴

樹勢は中程度、樹姿は開張性と直立性の中間となる。新梢の発生は多く、花芽の着生も多い。花は単弁桃色で花粉を有し自家結実性である。開花期は「あかつき」と同時期かやや早い。収穫期は、「あかつき」より1週間程度遅い中生品種である。生理落果の発生は少ない。せん孔細菌病の発生が認められ、灰星病にも罹病性である。

#### 3) 果実の特徴

果形は扁円形で果実重は230～300 gで「あかつき」と同等である。果皮の地色は白色、着色はぼかし状でやや多く、玉揃い良好で外観も優れている。果面の裂果、肌荒れは見られない。果肉は白色、溶質、肉質はやや緻密で繊維はやや多い。核は粘核で、核周囲の紅色素は多く、果肉内の紅色素も年により多い。糖度は高く「あかつき」と同等以上であり、酸味は少なく、渋みは認められない。

表-1 「なつおとめ」の品種特性（平成9～11年の平均）

品 種	満開日 (日)	収穫始 (日)	1果重 (g)	硬度 (kg)	糖度 (Brix)	pH
なつおとめ	4.18	8.11	233.2	1.93	12.5	4.81
あかつき	4.21	8.4	256.4	1.73	12.1	4.53
川中島白桃	4.24	8.25	290.4	1.71	12.7	4.48



図-1 「なつおとめ」

### 3 利活用の留意点

- 1) 花芽が多く、結実も良好であるため、摘蕾、摘花等早めの結実管理が必要である。
- 2) 樹上での日持ち性も良好であるが、収穫が遅れた場合には果肉内にみつ症状が発生し、褐変することがあるため、適期収穫に努める。

(問い合わせ先：園芸試験場栽培部 電話022-383-8132)

#### 4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 果樹の優良品種の選定と栽培法の確立 平成3～10年  
果樹の新品種育成 平成11年～15年

#### 2) 参考データ

表-2 「なつおとめ」の生育概況と樹体生育

	年次	発芽期 (月日)	開花期(月日)			収穫期(月日)	
			始	盛	終	始	終
なつおとめ	平成9年	4. 2	4.12	4.15	4.28	8. 8	8.14
	平成10年	3.29	4.12	4.15	4.24	8. 7	8.14
	平成11年	4. 4	4.17	4.23	4.30	8.17	8.20
	平均	4. 1	4.14	4.18	4.27	8.11	8.16
あかつき	平成9年	4. 2	4.13	4.21	4.29	8. 6	8.11
	平成10年	3.30	4.14	4.20	4.26	7.31	8.11
	平成11年	4. 4	4.17	4.23	5. 2	8. 5	8.12
	平均	4. 2	4.15	4.21	4.29	8. 4	8.11

表-3 「なつおとめ」の果実品質

	年次	1果重 (g)	着色割合 (%)	硬度 (kg)	糖度 (Brix)	pH
なつおとめ	平成9年	158.7	81	1.66	13.8	4.88
	平成10年	248.3	40	2.40	11.2	4.69
	平成11年	218.1	86	1.74	12.6	4.87
	平均	233.2 <sup>z</sup>	69	1.93	12.5	4.81
あかつき	平成9年	233.0	93	1.91	14.7	4.45
	平成10年	275.2	29	1.52	9.7	4.32
	平成11年	261.1	80	1.77	11.8	4.82
	平均	256.4	67	1.73	12.1	4.53

<sup>z</sup>: 「なつおとめ」の1果重は、平成9年の樹齢が5年で幼木のため除外

#### 3) 発表論文等 なし